

公開講座の開設主旨・目的等

今年度の文学部公開講座は、「病とこころ」と題して4つの講義をお届けいたします。
昨年来我々を悩ませ続ける疫禍は、世界中の人々の身体、そして心を蝕んできました。感染症は罹患者の身体を冒したばかりではありません。防疫策としてのロックダウン・行動制限は、全ての人々の心に重くのしかかり、目に見えぬウィルスの拡大は、社会全体に不安と疑心暗鬼の雰囲気蔓延させました。こうした現象に対して人類はどう対処してきたのでしょうか。私たちはどう向き合っていくべきなのでしょうか。たとえ今般の疫禍が終息しようとも、この問題は今後、私たちが常に向き合い続けねばならない問いとなるでしょう。
本年度の講義はこの問題に対して、多種多様な人文学諸分野の中でも西洋現代史、社会学、社会心理学、フランス文学、それぞれのアプローチで迫ってみたいと思います。現在、私たちが置かれた状況を俯瞰的に把握し、これからのことを皆さんとともに真摯に、多角的に考えてゆく、そうしたきっかけになればと願っています。

講義日程・題目及び講師

回	講義日	時間	講義題目	講師
1		13:30-13:40	挨拶	文学部長 長坂 一郎
2	10月2日(土)	13:40-15:10	感染症と冷戦:エイズをめぐるソ連国家保安委員会(KGB)の情報活動	准教授 藤澤 潤
3		15:20-16:50	パンデミックの中で考える現代社会の「ケガレ」観	准教授 酒井 朋子
4	10月9日(土)	13:30-15:00	コロナ禍と社会的孤立	講師 柳澤 邦昭
5		15:10-16:40	露の世ながら 理不尽な死を超えて書くフランスの作家たち	教授 中畑 寛之

連絡先

神戸大学大学院 人文学研究科 総務係
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1
TEL:078-803-5591
FAX:078-803-5589
E-mail: lsoumu@lit.kobe-u.ac.jp

※メールアドレスの一部(ac.jpの前など)には、アドレス収集ロボット対策として半角スペースが挿入されています。メールアドレスご使用の際には、適宜修正願います。